水道民営化ストップ浜松集会

去る1月13日、浜松市福祉交流センターで「命の水を守る全国のつどい・浜松」が行われ、全国各地から600名の参加者が水道民営化ストップへ、全国の力を合わせようと声を上げた。これは浜松市が全国に先駆けて民営化の動きがあることから、浜松市の水道民営化を考える市民ネットワーク等が呼びかけた実行委員会が主催した。

昨年、12月6日、ロクな審議もせずに安倍政権によって強行可決されてしまった民営化法案。この水道民営化法は、全国自治体の水道施設が老朽化し、その設備更新に莫大な経費が掛かるとして、コンセッション方式での水道民営化を行い国際的な水企業も参入できる法整備を行うというもの。

高額な費用が掛かるとして「国民の命の水」を外国資本の餌食にするとはとんでもない話である。その一方でガラクタ戦闘機F35百数十機を6兆円を超える高額で買うという安倍政権の異常さを象徴する話だ。

1月13日、浜松市福祉交流センターにて

パネルディスカッションには、弁護士の尾林芳匡氏、アジア太平洋資料センター共同代表の内田聖子氏、水ジャーナリストの橋本淳司氏が登壇した。

尾林氏は、「今進んでいる民営化の動きは、憲法、水道法の理念に真っ向から反する」と批判し、内田氏は、「世界的には40年ほど前から水道民営化が進んでいたが、その失敗から、最近の流れは再公営化」だと指摘。橋本氏は、「水は自治の基本」と語り、政府が民営化の口実にする老朽化対策について「老朽化が進んでいるのは、国の予算配分の問題。戦闘機を買う予算があるなら水道管に使うべき」と訴えた。

浜松市では、水道の運営権を企業に売却するコンセッション方式の導入について鈴木康友市長は当初、今年度中に是非を判断するとしていたが、延期を表明した。

集会では、市長らに送る水道民営化計画の中止を求めるアピールが拍手で採択された。〈M〉

県東部労農運動家列伝（1）

久保田　豊　④

久保田豊は三島の堺印刷の労働争議における理論指導者のひとりであった。

警察から目をつけられていて、昭和6年治安維持法違反で沼津警察署に一年近くも拘留されていた。田方農学校は免職になり、軍隊に入るということが条件で釈放された。

翌年幹部候補生として静岡連隊に入隊。軍隊生活を1年経験し、除隊。特高の監視つきで活動ができないことを嫌い満州（現在の中国東北部）に渡った。満州ではハルピン日々新聞の記者として政治・経済記事を執筆し、分かりやすい記事に評判が上がった。そこで家族をもった。

協和会の役員に転職後ソ連との国境近くの雞寧県（日本の郡や市に相当）の県長として役人生活をする。

久保田　豊

昭和20年8月9日のソ連参戦により、開拓民を引き連れて南部に避難。日本人難民の生活の面倒や帰国工作に尽力。昭和21年秋日本に帰国する。

翌年民選初代の韮山村長に選出される。民主化運動の先頭に立ち、韮山農民組合を設立し、自ら組合長になり、田方郡下の各種農民団体と連携し農民運動を指導する。

従来は村の旦那衆が独占してきた各種の役員も、農地解放によって生まれた自作農を中心として、村民全体の協議によって選出するように推進した。新たに組織された農業協同組合ではその趣旨に合うように組合長を総会で選出するという方法をとり、人望のある方が就任した。

この時期には所得は自己申告が原則であったにも関わらず、農業所得には、三島税務署は従来慣行の内示所得課税を行って徴税を進めようとしてきた。これを改めるべく2年間にわたり全村滞納運動という手段で税金闘争を指導し、ついに自主申告を勝ち取った。

昭和26年には、村長を辞職し、衆議院総選挙で農民組合をバックに無所属出馬したが惜しくも次点に終わった。翌年春の衆議院解散では労働者農民党の公認候補として出馬し、農民組合、労働組合の支持を固め即日開票分だけでみごと当選。以降亡くなるまで5回連続当選を果たしている。

その間に昭和33年の狩野川台風による大災害があり、狩野川の氾濫に苦しんでいる近隣の自治体と協力し、放水路の建設に力を尽くした。以降狩野川の大きな氾濫はなくなっている。不幸にして放水路の完成を待つかのように昭和40年10月24日病のため逝去。享年60歳であった。　完

〈O〉

経皮毒から子供たちを守ろう（1）

「経皮毒」は身近なものから体内に入ってくる！

経皮毒とは、その名のとおり「皮膚を経由して入る毒」。有毒化学物質が人の身体に入るのは、口を介しての経口・空気を介しての経鼻・皮膚を経由しての経皮の3つのルートがある。口から入る経口毒は、肝臓や腎臓である程度排出機能があるが、皮膚から吸収された毒は排出機能がなく分解されにくい。化粧品やシャンプー、歯磨き粉、各種洗剤、漂白剤、カビ落とし、消臭剤、殺虫剤、生理用品、紙おむつなどの日用品や、畳、壁紙、カーテン、カーペット、家具、おもちゃ、装飾品に至るまで、ありとあらゆるものに含まれる有害物質が皮膚から吸収され、知らずしらずの間に体内に蓄積する。近年増え続けているアトピー性皮膚炎や、各種アレルギー疾患なども、経皮毒が一因と考えられている。これらに含まれる有毒化学物質は、ほとんどが元々自然界には存在しない、石油の分子構造を操作して造られたものである。

皮膚表面は本来、皮脂膜や常在菌によりバリアー（防壁）を作り異物の侵入を制限しているが、合成界面活性剤の入った洗剤等で洗うと常在菌が洗い流され皮膚免疫力を下げ強力な界面活性力（自然界では混じらない水と油を化学の力で強力に融合）により皮脂膜を粉砕し、有毒化学物質を容易に体内に侵入させる。また脳は60％が脂肪から出来ているため、油脂に溶け込みやすい有毒化学物質が脳に侵入し、アルツハイマー、認知症、自閉症、学習障害、多動性、適応障害などの脳の病気に悪影響を与える。経皮毒は女性の場合、子宮に蓄積されやすく「羊水からシャンプーや毛染めの匂いがする」という話は多くの女性にショックを与えている。それが子宮筋腫や子宮内膜症、ひいては不妊等の急増にも関係し、胎盤や羊水を通して、赤ちゃんにも経皮毒が伝わり、子どものアトピーやアレルギーなども、経皮毒の影響があるのではないかと疑われている。行き過ぎた清潔志向や香りの流行にも注意が必要。次回は経皮毒から守る方法や排出について。

〈J〉

あけましておめでとうございます。

2019年が始まりました。昨年末の市長選では残念ながら市民派の候補者が現れず、投票率が5割を割った中で、盛り上がりを欠く市長選になってしまいました。

今や国も地方も民主主義は大きな危機を迎えています。市民運動もなかなか若者の心を捉えることができないままですが、憂いていても仕方がありません。

今年は視点を変えた運動を作り出して行きたいと思います。周りのせいにせず自分自身を変えていこう。今をどう生きるのかを最重要に考えて成長し続けよう。自分の意思を表明し、若者は若者パワーを出し、老人は老人人パワーで地方から変えていこうではありませんか！

市民ひろばはそんな運動の連絡係になって行きたいと思います。今年もよろしく願いします。

〈市民ひろば世話人一同〉

ひろばおすすめshop

えほんやさん

昨年10月、三島の商店街に絵本専門店がオープン。隣は市内在住の絵本作家宮西達也さんの店。1階に絵本を並べ、子育ての居場所づくりとしてカフェスペースを併設する。2階はロフトのレンタルスペース。絵本は国内外200種類を置く。代表は絵本作家のえがしらみちこさん。「言葉が優しい、絵がきれいな作品を置きたい。特に言葉遣いは大事。以前から絵本を通した子育て世代の交流の場があればと思っていた」と話した。

HPには「ゆくゆくは三島が本の街になり、そこから日本中に「絵本専門店」や「街の書店」ができて文化に理解のある場所がふえていくといいなぁと考えています」とある。楽しい広がりが期待できそうだ。

三島市中央町4-10
055-900-1052
営業時間　10時～17時
（木曜　10時～15時半）
火曜定休

郷土の文学碑（1）

「紙ふうせん」

著者斉藤静子さんの紹介

1938年沼津市平町に生まれ、幼少期に母親との死別、沼津空襲を経験。その後家族で三島市内に転居。小・中・高を市内で学び、就職、結婚、子育ても三島で過ごし、童話作家として活動を続け、現在も三島市内に在住。

静岡県芸術祭・児童文学の部で芸術祭賞、同奨励賞4回受賞、文芸三島賞（小説の部）受賞。作品は児童文学、エッセイ、詩の分野にわたる。ひまわりぐるうぷ同人、日本児童文学者協会、児童文化の会、三島児童文学を語る会・会員。

お母さんのお葬式

昭和二十年　ゆみ子七才
霊柩車は　ガソリンがなくて　走らない
大八車に　お母さんの棺
棺には　黒い布が　かけてあった

すこしまえまでは
霊柩車をまねて
金ピカの布を　棺にかけていた
お母さんの葬式には
金ピカの布は　上空から目立つ
爆撃されやすいと
それも　だめになった
黒衣の人が　大八車をひいて　火葬場へ　むかった
香貫山の裾をめぐって
火葬場へ行く道
空襲のあいまをぬっての
お母さんの旅立ち
お母さんを　送ってくれる列が
大八車のあとに　ついた
火葬に使う　薪も
遺族が　用意するのだった
大八車の棺のあと　お母さんを送る列
薪を積んだ　荷車も　ゴトゴト
火葬場の坂道を　のぼっていった
火葬場は香貫にあった
香貫山が　せまっていた
ゆみ子は　軍服姿の　ゆうにいちゃんと
ふたりで　火葬をまっていた
「山へ登ろう」
ゆうにいちゃんが　いった
火葬場から　草木の茂った
急な道を　登っていった
沼津の町が　ひろがっていた
今日の空は　B29の影もない
狩野川は　天城からの旅をおえ
沼津の町を　くねって
河口にでる
ゆうにいちゃんが　ゆみ子の家や　学校
指さして　教えてくれた
ゆみ子の気を　まぎらせてくれた
山に登っているまに　お母さんは
火葬場が　爆撃の目標にならぬよう
煙になるのも　気がねして
天にのぼっていった

本号より本棚だよりと郷土の文学碑を交互に掲載予定

ばらの祈り
死の灰を越えて
遠洋で水爆の被害を受けた焼津のマグロ船第五福竜丸の無線長の家族のお話です。
この絵本が多くの人々の心に届きますように。　頒価 1,000円
発行 手仕事・かさや
TEL：090−1745−1087（矢部）

ミネラル醗酵ドリンク教室
御予約にて開催いたします
費用　3500円（材料費を含む）
連絡先　駿東郡清水町徳倉あんさ
電話：070−6410−7538（こうの）

CAfe NAMAKEMONO
Cafe Namakemono
Tel 055-876-2796
〒410-2322 静岡県伊豆の国市吉田 126
営業時間 open12:00 ～ close18:00
定休日　火曜日・水曜日

ひろばパソコン教室のご案内
デジカメ
iPad
スマホ買ったけど
使いこなせない（＞＜。）
第２・４水曜日 午後７時～８時半
市民ひろばにて
１回 1000 円
【個別指導対応】
iPad、スマホの使い方、ワード、エクセル、デジカメ、画像処理、3DCAD の使い方等
連絡先：080−3061−1561（原田）

労働相談受け付けます！
三島ふれあいユニオン
首切り解雇、残業代未払い
職場でのパワハラ・セクハラ
ひとりで悩まないで相談してください
三島ふれあいユニオンは
全力であなたをサポートします
電 話：090−4216−8417
Eメール：hrwsiys@yahoo.co.jp